

勤怠情報の可視化により 自ら働き方改革を推進する環境に

導入製品



埼玉日産自動車株式会社

日産自動車の販売を中心に自動車整備や損害保険代理業も手がけ、顧客のカーライフを総合的に支援している。「全てはお客さま最適のために」をスローガンとして顧客満足に資するサービスを追求している。「くるみんマーク」と「えるぼしマーク」を取得済。

所在地…埼玉県さいたま市上落合9-3-6
従業員数…1,040名(2016年12月現在)
拠点数…埼玉県内に49拠点(新車42拠点、中古7拠点)
URL…<http://www.saitama-nissan.co.jp>

手書きの出勤簿とExcelによる勤怠集計で 勤怠締日に作業が集中

奉行Edge勤怠管理クラウドを導入する以前は、勤怠は紙とExcelで管理していたという。専務執行役員で管理部門担当 兼 人材開発部長の加藤勝巳氏が当時を語る。「店舗では出勤簿に出退勤時刻や残業時間を手書きし、店長は承認して勤怠の集計結果をExcelに入力していました。締日になると店舗からExcelと出勤簿が報告されますが、出勤簿はファクスで送られてくるため、数字がつぶれているケースが多く、都度確認の問い合わせをするのは一苦勞でした。また、出勤簿に修正があればExcelの集計結果も修正して検算する作業が発生していましたので、人事課の人員だけでは足りず、総務部全員で作業をしていました。そのため1,000名余りの従業員の勤怠情報を確定してファイリングを終えるには、少なくとも3日間はずきつきり作業している状況でした。経営環境が変わるなか、総務部として本当に価値あるクリエイティブな仕事に注力する時間を捻出しなければならず、勤怠管理を効率化する必要があると感じていました」



専務執行役員
管理部門担当 兼 人材開発部長
加藤勝巳様

法改正で求められる労働時間の適正把握が現状では困難であった

働き方改革推進法の施行や労働基準法改正など、企業を取り巻く環境が変わりつつあることもシステム導入の背景にある。「今までの紙の出勤簿では、始業・終業時刻が自己申告に等しく、業務を終えても職場に残っている従業員が見受けられました。また、勤怠を締めた後でしか残業時間がわからない状態だったため、残業の是正が後手に回っていました。そこで、出退勤時刻を正確に把握して労働時間を管理するためのシステムが必要になったのです。さらに、残業を削減しつつ、休暇取得を促進することで、ワークライフバランスを中心とした従業員の健康面と満足度の向上に取り組みたいという意図があった」と言う。



東京日産コンピュータシステム株式会社
マネージドサービス事業部
サポート&サービス副部長
熊倉貴明様

そこで、加藤氏は東京日産コンピュータシステム株式会社マネージドサービス事業部サポート&サービス副部長の熊倉貴明氏に相談を持ちかけた。そうすると、奉行Edge勤怠管理クラウドを推薦されたという。その理由とは何だったのか。熊倉氏が語る。

「勤怠管理システムは多くの会社が手がけていますが、その中でも奉行Edge勤怠クラウドでは早い段階から改正労働基準法への対応が予定されていました。また、数千名規模の企業で導入実績があり、他の日産グループ企業に導入した際にも手厚いサポートで安定稼働できたことから安心して推薦しました」

熊倉氏から奉行Edge勤怠クラウドの推薦を受け、加藤氏は具体的に検討を始めたという。

指静脈認証によるなりすまし打刻の防止とセキュリティ面を重視

総務の責任者である執行役員 総務部長の鈴木彰氏は、システム選定の経緯を次のように振り返る。「勤怠管理のシステム化を検討する上で、カードを利用して打刻する方法では、なりすましなどの運用に伴う不安がありました。しかし、奉行Edge勤怠クラウドでは打刻方式に生体認証による『指静脈認証』が選択できたことで、なりすましに対する不安が払拭されました。また、クラウド環境に個人情報である勤怠データが保管されることにも懸念を感じていましたが、強固なセキュリティが確保されていることを確認でき、導入の後押しになりました」



執行役員 総務部長
鈴木彰様

勤怠管理を1名で完結できるようになり 総務部門に時間的余裕が生まれた

導入後、どのような効果が出ているのか。総務部人事課専任課長代理の沖野千佳氏が語る。
「店舗への出勤簿の確認やファイリング、集計結果の検算など、これまで膨大な時間をかけて処理してきた作業が一気になりました。奉行Edge勤怠管理クラウドを導入し、店舗では指静脈認証の端末を利用してWeb上で打刻を行っています。残業や休暇などの申請は、店長が承認後にWebに入力すると人事課と共有される仕組みになりました。人事課では、店長からの入力結果をチェックするだけで済むようになり、総務部を総動員していた作業を実質1人で行えています。また、データをExcelシートに落とすことができるため、チェックのスピードも精度も格段に上がり、時間に余裕が生まれました」

勤務の実態を知ることから自ら改善行動する環境に

勤怠管理の運用マニュアルを手がけた総務部人事課主任の大原亜貴子氏はこう語る。
「指静脈認証での打刻は指を機械に入れるだけなので、店舗の従業員もスムーズに運用できています。また、未打刻の従業員がいると店長へ自動的にメールで通知されるので、店長から打刻するように部下への指導も行えるようになっています。人事課も常に打刻状況を把握して、未打刻が多い従業員に働きかけていくうちに打刻が徹底されるようになってきました」

打刻の徹底によって勤怠情報が可視化されたことで、店長を中心に長時間労働の是正や休日の確保などに取り組む動きが出てきているという。

「店長は、月の途中で残業の発生状況がわかるため、残業が多い部下から残業の申請があった際には、どのような理由で残業が必要なのか、仕事内容を確認するようになりました。また、店舗別の平均残業時間などを具体的に示すことで、店長が現状と課題を認識し、早期の帰宅を促すといった行動につながってきています」(加藤氏)



総務部人事課主任
大原亜貴子様

人財育成や評価制度に働き方改革を反映させる

さらに、加藤氏は「法改正に合わせて奉行Edge勤怠管理クラウドの機能を利用し、労働時間を計画的に管理する仕組み作りや、これからの人財育成・採用に役立てていきたい」と語る。

「今回のシステム導入で残業時間や勤務状況などが可視化され、当社にとっての働き方改革が始まりました。さらに2019年には有休の取得が義務づけられ、さらなる計画的な労働管理を迫られることは明白です。そのためには会社も従業員も変わらなければなりません。人財育成も今後は“限られた時間の中で成果を上げられる人物像”をベースに取り組むこととなります。将来的には、“早く仕事を終えて帰社している”“有休を取得している”“効率的に成果を上げた”なども評価に含まれるようにしたいですね。こうした取り組みによる従業員の心身の健康とモチベーションアップは同時に“お客さまに価値あるサービスを提供する”ことにつながると思っています」

「継続的な企業成長のためには人財採用は喫緊の課題です。すでに“残業がない会社”、“有休が取れる会社”であることが学生の企業選定要素になっていると聞きます。ワークライフバランスを確保して働きやすい職場をつくることで、離職削減と優秀な人財を採用できるよう、努力を重ねていきます」(加藤氏)

埼玉日産自動車のスローガン「全てはお客様最適のために」に向けた働き改革の取り組みに終わりは無い。



株式会社オービックビジネスコンサルタント
<http://www.obc.co.jp/>

(東京) 〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー
(札幌) 〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル10F
(仙台) 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー20F
(関東) 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-9-6 大宮センタービル7F
(横浜) 〒220-0011 横浜西区高島1-1-2 横浜三井ビルディング15F
(静岡) 〒420-0857 静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワールド静岡ビル5F
(金沢) 〒920-0853 金沢市本町1-5-2 リファレ5F
(名古屋) 〒450-6325 名古屋市中村区名駅1-1-1 JPTタワー名古屋25F
(大阪) 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F
(広島) 〒730-0032 広島市中区立町2-27 NBF広島立町ビル4F
(福岡) 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町2-1 博多祇園M-SQUARE 9F

TEL.03(3342)1880(代) FAX.03(3342)1874
TEL.011(221)8850(代) FAX.011(221)7310
TEL.022(215)7550(代) FAX.022(215)7558
TEL.048(657)3426(代) FAX.048(645)2424
TEL.045(227)6470(代) FAX.045(227)6440
TEL.054(254)5966(代) FAX.054(254)5933
TEL.076(265)5411(代) FAX.076(265)7068
TEL.052(589)8930(代) FAX.052(589)8939
TEL.06(6367)1101(代) FAX.06(6367)1102
TEL.082(544)2430(代) FAX.082(541)2431
TEL.092(263)6091(代) FAX.092(263)6099

販売代理店

※会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。※カタログに記載された内容および製品の仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。※本カタログの記載内容は2018年4月現在のものです。
©2018 OBC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD.ALL rights reserved.